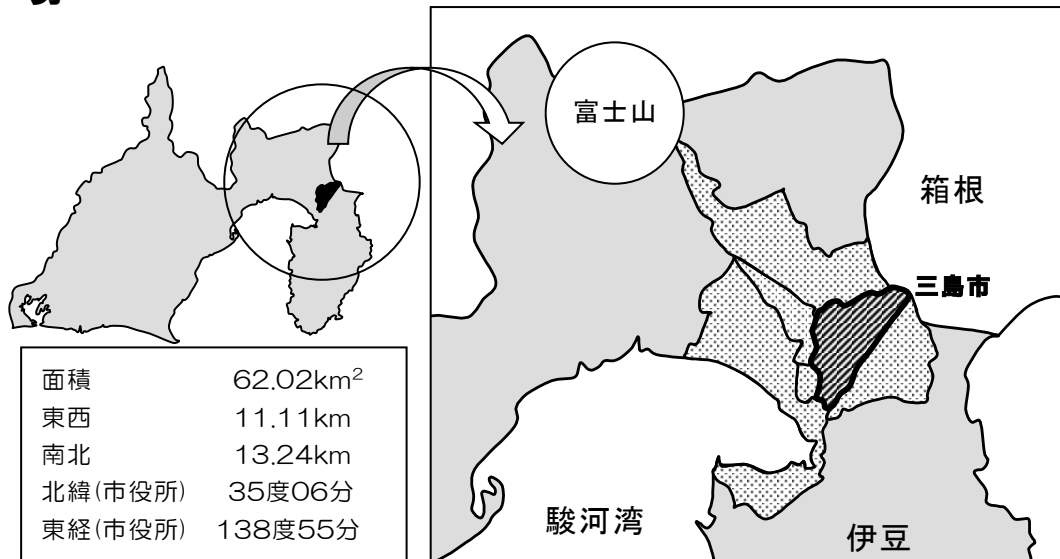


第 1 章

市 政 の 概 要

1 地 勢



本市は、静岡県東部の富士箱根伊豆国立公園への玄関口に位置し、東は天下の景勝箱根連山に連なり、北はその偉容を誇る富士の高峰を仰ぎ、南に肥沃な田方平野より伊豆の温泉郷に通じ、西に遠く駿河湾を眺めています。古くは伊豆の国府が置かれ、三嶋大社を擁する東海道の宿場町として栄え、恵まれた自然と豊かな歴史にはぐくまれながら、県東部の中核的な都市として発展し現在に至っています。

また、富士山の清冽な地下水に恵まれ、この豊富な地下水と温暖な気候及び大都市圏への交通の利便さを背景として、近年、都市化の進行、産業活動の拡大等により市街のインフラ整備も進み、文教、住宅、観光、商業を中心とする複合都市を形成しつつあります。

2 自然条件

(1) 地形・地質

本市の地形は箱根西麓の「箱根火山山麓地」、市北部から三島駅付近の「三島溶岩流地」、三島駅付近から温水池に至る「黄瀬川（三島）扇状地」、田方平野の「狩野川流域低地」の大きく4つに区分されます。

市域の約3分の2を占める「箱根火山山麓地」は、山頂から中腹にかけて安山岩質岩石が分布し、中腹から裾野にかけてはローム・火山灰の火山砕屑物が分布しています。「三島溶岩流地」は玄武岩質岩石で構成され、「黄瀬川扇状地」は砂礫層の堆積物からなる乾燥した平野です。一方、「狩野川流域低地」は主に軟弱な地層からなる低湿な三角州的平野です。

(2) 気 候

本市は表日本型で内陸性の気象特性を持ち、比較的温暖で恵まれた気候です。風については、周辺地域の複雑な地形の影響で、海陸風や山谷風などの局地風が発生しています。

年次	平均気温(°C)	最高気温(°C)	最低気温(°C)	平均風速(m/s)	年降水量(mm)	日照時間(h)
2019	17.1	35.6	-2.4	2.3	2,119.5	1,994.9
2020	17.3	37.3	-2.3	2.3	2,276.0	2040.4
2021	17.1	35.5	-4.4	2.4	2,061.0	2188.4
2022	16.9	36.3	-4.3	2.2	1,896.0	2099.5

(資料:気象庁静岡地方気象台三島特別地域気象観測所)

(3) 河川

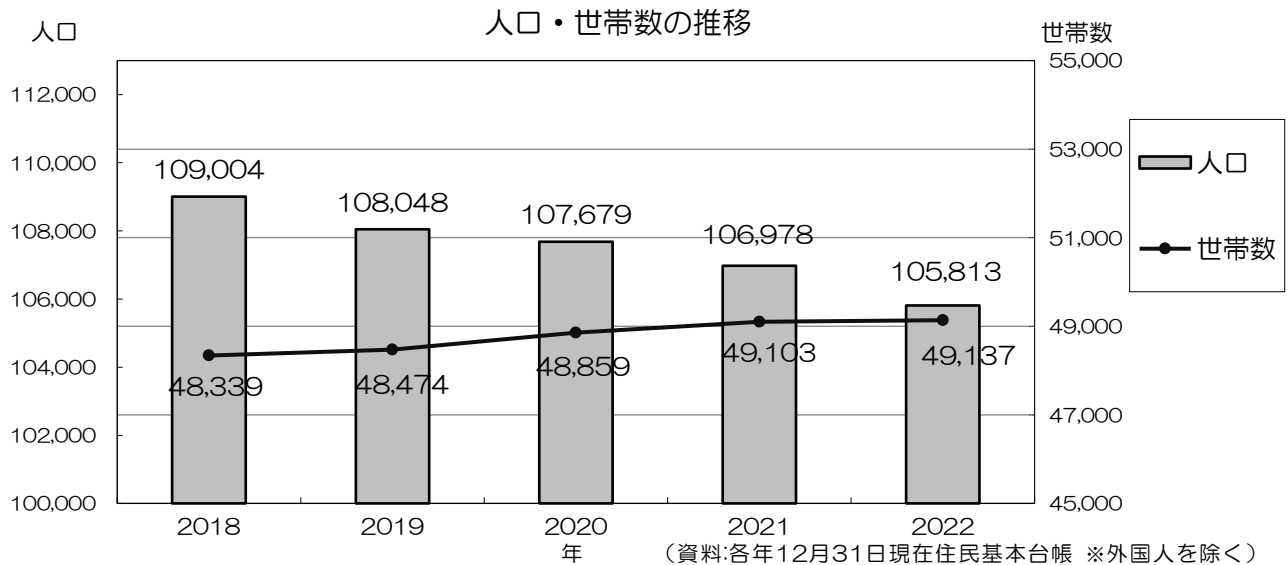
市内全域を流れる河川は全て一級河川の狩野川水系に属しており、主要河川は大場川とその支川の沢地川、山田川、夏梅木川です。大場川は、箱根山に源を発して山麓を流れ、市域を南北に縦断し、各支川を集め、狩野川に流入します。市街地には富士山の湧水を源とする桜川、源兵衛川、蓮沼川、御殿川が流れています。そのほか、松毛川、境川、函南観音川などの河川があります。

(4) 湧水・地下水

本市は、昔から「水の都・三島」と呼ばれていました。湧水の源である「三島湧水群」は、富士山麓に降った雨や雪が地下水となり、楽寿園小浜池や白滝公園などから湧き出したもので、源兵衛川、桜川、蓮沼川などを形成しています。1960（昭和35）年頃から工場立地が進み、地下水の使用量増加や、都市化が進んだことにより地下水・湧水が減少しましたが、現在では小浜池は、初夏から年明けの湧水期に地下水の湧出をみることができ、2021、2022年には満水になりました。

3 人口

2022年12月31日における当市の人口は105,813人、世帯数は49,137世帯です。近年、人口は減少傾向、世帯数は増加傾向にあります。



4 産業

(1) 各産業の概要

- ①農業：箱根西麓の路地野菜や畜産、平地での稲作など、恵まれた気候条件を生かした農業生産が行われています。近年は農家数、耕地面積ともに減少傾向にあります。
- ②工業：市内の工業系事業所の約9割が従業員30人未満の事業所であり、製造品としては一般機械・食料品・金属製品の製造が主となっています。
- ③商業：中心市街地でのガーデンシティみしまの推進や観光交流客の増加に伴う相乗効果により新規に出店する店舗が見られ、空き店舗については、低水準を維持しています。
- ④観光：東海道新幹線を始めとする様々な交通機関、また三嶋大社や街中がせせらぎ事業で整備した自然環境などの観光資産に恵まれていることから、多くの人々が観光に訪れています。

(2) 産業大分類別事業所数と従業者数（2021年6月）

産業分類	事業所数	構成比（％）	従業者数	構成比（％）
農林漁業	18	0.4	122	0.3
鉱業，採石業，砂利採取業	0	0.0	0	0.0
建設業	449	9.1	3,159	7.1
製造業	321	6.5	6,887	15.5
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.0	39	0.1
情報通信業	68	1.4	838	1.9
運輸業，郵便業	89	1.8	2,118	4.8
卸売業，小売業	1,052	21.3	7,490	16.8
金融業，保険業	72	1.5	922	2.1
不動産業，物品賃貸業	531	10.7	1,279	2.9
学術研究，専門・技術サービス業	250	5.1	1,578	3.5
宿泊業，飲食サービス業	702	14.2	4,696	10.6
生活関連サービス業，娯楽業	434	8.8	1,877	4.2
教育，学習支援業	189	3.8	1,759	4.0
医療，福祉	438	8.9	6,298	14.2
複合サービス事業	16	0.3	509	1.1
サービス業（他に分類されないもの）	312	6.3	4,925	11.1
合計	4,943	100.0	44,496	100.0

※公務を除き、事業内容等不詳を含まない。

（資料：令和3年経済センサス-活動調査）

5 土地利用

(1) 土地利用

2023年1月1日現在の土地利用状況は、次のとおりです。

区分	宅地	田	畑	山林	原野	雑種地	その他	合計
比率（％）	19.1	5.1	11.3	21.6	12.0	6.0	24.9	100

出典となる資料：令和5年度概要調書 第2表（課税課提供）

(2) 都市計画

2023年3月末日現在の都市計画区域内訳は次のとおりです。

区域区分	区分	都市計画区域	市街化区域	市街化調整区域
	面積(ha)	6,202	1,366.8	4,835.2
	比率(%)	100.0	22.0	78.0

（資料：都市計画課提供）

6 上水道・下水道

(1) 上水道（簡易水道含む）

本市の水道は、伊豆島田浄水場の地下水、県営駿豆水道からの浄水、市営山中新田簡易水道及び佐野見晴台簡易水道の地下水を水源とし配水しています。

2022年度末現在の給水人口は106,604人、普及率は99.9%です。

(2) 下水道

本市では、1964年度に都市下水路事業が検討され、1968年度に新たに公共下水道事業が計画されてからその整備拡充が進められ、1976年11月に一部の地域から供用が開始されました。

2022年度末現在の公共下水道普及状況は、事業計画面積1,622.7haに対し、整備面積は1,360.7haで整備率は83.9%です。普及率は、行政人口106,740人に対し、処理区域内人口は90,442人で84.7%となっています。

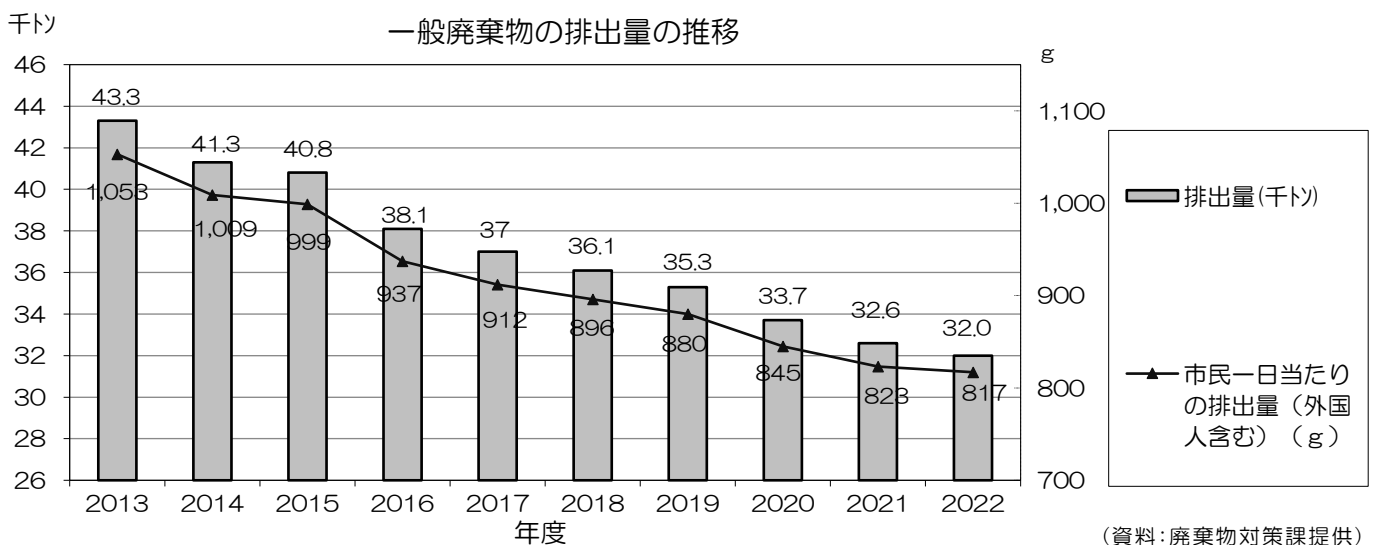
なお、2022年度末現在の汚水処理状況は、次のとおりです。

区分	公共下水道	汲み取り	浄化槽(単独)	集中浄化槽	合併処理浄化槽	計
世帯数(世帯)	39,547	114	5,484	1,110	3,687	50,034
(処理区域内)	(39,547)	(70)	(2,423)	(0)	(650)	(42,690)
人口(人)	84,216	186	10,953	2,788	8,597	106,740
(処理区域内)	(84,216)	(106)	(4,563)	(0)	(1,557)	(90,442)

(資料:下水道課、生活排水対策室提供)

7 廃棄物

当市の2022年度の一般廃棄物排出量は、32,040t(生活系ごみ24,301t、事業系ごみ7,739t)で、1人1日あたりに直すと817g/人・日となっています。近年は、生ごみ減量をはじめとするごみ減量施策の推進や積極的な市民意識啓発の結果、廃棄物排出量は2006年度をピークに年々減少傾向にあります。



8 交通

(1) 道路

本市の主要幹線道路は、東西を結ぶ国道1号と、伊豆へ通じる国道136号、また東名高速道路・新東名高速道路から伊豆中央道路までを繋ぐ東駿河湾環状道路であり、これにいくつかの主要地方道、県道が接続しています。2020年2月には笹原新田地区に国道1号笹原山中バイパスが開通しました。各主要地方道等は市街地を中心として慢性的に渋滞しており、特に観光客が多数訪れる週末には、かなりの渋滞がみられます。

(2) 鉄道

市域には、JR東海道新幹線及び東海道本線が東西に走り、また、三島・修善寺間を結ぶ私鉄伊豆箱根鉄道駿豆線が通じています。